

〈抜粋〉



発行人 飛田 常年
住所 蒲郡市緑町5-19
TEL 0533-68-1288
FAX 0533-68-1286
E-mail joenen@sk.aitai.ne.jp
URL http://hidatsunetoshi.com/

蒲郡の声を県政へ 県政をもっと身近に
愛知県議会議員 自由民主党蒲郡支部長
ひだ 常年の 県政 かわら版

1月



- 6日(水) 14区県議幹部会
8日(金) 自民党議員総会
9日(土) 三谷地区支援バス「おしまるりんバス」出発式
10日(日) 蒲郡市消防出初め式
12日(火) 政策企画局・総務局・人事局
13日(水) 警察本部・教育委員会・スポーツ局 教育治安調査会
14日(木) 農業水産局・農林基盤局 農林水産振興調査会
15日(金) 経済産業局・労働局・観光・企業庁 産業振興調査会
18日(月) 臨時議会 本会議
19日(火) 自民党政調会
31日(日) 中日写真協会蒲郡支部総会

3月

- 2日(火) 2月定例県議会 代表質問
3日(水) 2月定例県議会 一般質問
4日(木) 2月定例県議会 一般質問
5日(金) 2月定例県議会 一般質問
9日(火) 2月定例県議会 議案質疑
10日(水) 2月定例県議会 議案質疑
11日(木) 2月定例県議会 議案質疑
12日(金) 2月定例県議会 本会議
18日(木) 教育・スポーツ委員会 建設委員会連合審査会
21日(日) 自民党14選挙区支部公職者会議
23日(火) 自民党議員総会 総務会
24日(水) 第3回東三河ビジョン協議会
25日(木) 12月定例県議会 本会議閉会
28日(日) 映画「ゾッキ」知事表敬訪問



5月



- 3日(月) 花火ワクケン大作戦
4日(火) 今枝塩津地区作戦会議
5日(水) 大塚・相楽・海陽ふるさと博物館推進委員会総会
7日(金) グループホームふむふむ施設内覧会
9日(日) 14区県議幹部会
11日(火) 自民党議員総会
12日(水) 臨時愛知県議会
17日(月) 役員選考委員会(第1回)
19日(水) 市議会・市長との意見交換会
20日(木) 役員選考委員会(第2回)
21日(金) 自民党議員総会
24日(月) 大塚学区開発委員会要望
27日(木) 自民党議員総会
31日(月) サークル・エコノミー勉強会

2月



- 2日(火) 都市計画課会合
3日(水) 東大塚基金整備事業会合
7日(日) 自民党蒲郡市議団 市政報告
8日(月) 自民党議員総会
10日(水) 蒲郡商工会議所との意見交換会
15日(月) 三谷水産高校 表敬訪問
16日(火) 議案研究会 総務企画・県民環境
17日(水) 議案研究会 福祉医療・経済労働・農林水産 Zoom会議
18日(木) 議案研究会 建設・教育・スポーツ・警察 Zoom会議
19日(金) 自民党議員総会
22日(月) 議案説明(県民環境関係・福祉医療関係)
24日(水) 議案説明(経済労働関係・農林水産関係)
25日(木) 議案説明(建設関係・教育・スポーツ関係)
26日(金) 蒲郡ロータリークラブ表彰式

4月

- 2日(金) 自民党議員総会
3日(土) 大塚地区支援バス「ひめはるくるりんバス」出発式
4日(日) 蒲郡市消防団辞令交付式
6日(火) 市長・市議会・県議意見交換会
9日(金) 蒲郡市シルバー人材センター女性部会発足式
10日(土) 社会福祉法人楽笑 設立記念式典
12日(月) 県連政調会 友好団体訪問
16日(金) 今枝代議士国政報告会
19日(月) 自民党議員総会
20日(火) 蒲郡商工会議所青年部総会
21日(水) 自民党議員総会



6月



- 1日(火) 形原温泉あじさい祭り
3日(木) 自民党議員総会
8日(火) 高瀬水産水産関係に関する勉強会
9日(水) 蒲郡北地区再開発 アイシン開発情報交換会
15日(火) 自民党議員総会
16日(水) 常任農林水産委員会 所管事項説明
17日(木) 自民党議員総会
21日(月) 6月定例愛知県議会 代表質問
22日(火) 6月定例愛知県議会 一般質問
23日(水) 6月定例愛知県議会 一般質問
24日(木) 瀬オティックズ訪問 意見交換会
25日(金) 常任農林水産委員会
29日(火) 全国山村振興連盟愛知県支部総会



2月定例県議会 壇上での一般質問 (内容は2面に掲載)



竹中直人氏、山田孝之氏、齊藤正氏の3監督が2021年度愛知県観光文化大使に就任



自席での要望

新型コロナウイルス感染症対策にワクチン接種のご理解とご協力を!

立秋の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃より「飛田常年」の議員活動に際しまして、温かいご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
新型コロナウイルスの感染症が全国的になかなか収束に向かいません。蒲郡市においては一時クラスターが発生しましたが、市民の皆様のご努力により現在は、最小限に押さえられており感謝申し上げます。
新型コロナウイルス感染症を収束させるには、今のところワクチン接種をするしかないのが現状です。ご不安もあろうかと存じますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
飲食関係や観光、第一次産業他、あらゆる方面に、給付金や助成金、協力金等の支給には遅延が出てしまいご迷惑をお掛けしています。ご不便をお掛けしておりますが、愛知県としても全力で対応してまいります。
また、最前線で長期にわたって、治療に当たっておられる医療従事者等の関係者の皆様には改めて敬意と感謝を申し上げます。
結びに、コロナ禍ではありますが、夢と希望と感動をもたらす東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功を祈念します。これからも、愛知県政発展並びに教育と県民福祉の向上のため頑張ってください。皆様方の変なご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和3年度(2021) 役職

- ◆常任委員会
・農林水産委員会 委員
◆特別委員会
・安全・安心対策特別委員会 委員
◆自民党県議団役職
・県民環境調査会 副会長
・自民党議会改革プロジェクトチーム 委員
◆自民党県議団議員連盟役職(令和元年度~令和4年度)
・観光議員連盟 副会長
・水産振興議員連盟 副会長
・農政議員連盟 幹事兼事務局長
・次世代産業振興議員連盟 幹事兼モトづくり副会長
・県土整備促進議員連盟 幹事兼道路調査員
・消防・地震防災議員連盟 幹事
・看護議員連盟 幹事
・他15議員連盟 委員
・全国みかん生産者協議会議員代表協議会 監事
・蒲郡市に群がる自由民主党愛知県議員の会 幹事
◆自民党愛知県連政務調査会 委員
◆自民党愛知14選挙区支部 総務会長
◆自民党蒲郡支部 支部長

編集後記
コロナ禍ではありますが、明るい話題として、映画「ゾッキ」のあと、大地真央さんの「最高のオバハン 中島ハルコ」や大森のぶさんの「スポットライトを当ててくれ!」等蒲郡をロケ地にした映画が撮影されました。蒲郡がさらに宣伝され、観光振興に繋がることを期待します。これからも県民の皆様の負託に応えるべく、県政かわら版を通して情報をお伝えしてまいります。ぜひブログをご覧ください、ご意見ご要望をぜひお聞かせいただければ幸いです。また、蒲形公園西(緑町5-19)に事務所を開いています。お気軽にお立ち寄りください

ひだ常年事務所 〒443-0048 蒲郡市緑町5-19
TEL. 0533-68-1288
FAX. 0533-68-1286
E-mail. joenen@sk.aitai.ne.jp URL. http://hidatsunetoshi.com/



1. あいち型植物工場について

Q.「あいち型植物工場」のこれまでの導入状況と成果について伺う。

A. (西川園芸農産課長答弁)  
既存施設に温度、湿度、二酸化炭素濃度の3項目を常時モニタリングする環境測定装置(めぐりログ等)を導入し、その測定結果を基に複合的に施設内の環境を制御するもので、トマトやいちご、バラ、ハウスみかんなど、本県を代表する10品目を対象に12地区76.1haで環境測定装置や二酸化炭素の発生装置などを導入され、本県の園芸用施設設置面積1,870haの8.8%にあたる。成果は、トマトは特に厳寒期の収量アップにより年間総収量が約15%増加し、ハウスミカンのグループでは参加した農家の平均反収が導入前に比べ約14%アップし、キクにおいて冬期の上位階級発生率が約4%向上するなど、多くの産地で生産性が向上しており、着実に成果が上がっている。



いちご サンベリー 蒲郡温室みかん

2. 農業青年の海外派遣について

Q.国際農業者交流協会における海外派遣農業研修の実施状況と本県での取組並びに農業教育高度化事業において、海外派遣農業研修への助成を制度化の内容について伺う。

A. (恒川農業経営課長答弁)  
1968年度に愛知県国際農友会を設立し、この組織が県内の派遣希望者の選考、参加啓発などを担い、これまでに378名が海外に派遣されている。農林水産省の農業教育高度化事業は、国際的な農業人材の育成に向けた海外派遣農業研修に対して助成を行い、一人あたり上限60万円として、渡航のための旅費及び研修費の半額が助成される。

1. 本県の水産業の振興について

Q.漁業者の皆様、将来に向けた明るい希望を持っていただくために、今後の水産振興施策をどのように進めていくのか伺う。

A. (中根農業水産局長答弁)  
新たな「愛知県漁業振興計画」を策定し、3つの柱で構成しており、一つ目の柱「豊かな水産資源を育む海づくり」、二つ目の柱「漁業者が儲かる経営づくり」、三つ目の柱「未来につながる水産業の構造改革」として、将来にわたり持続的に発展できる水産業の実現を図っていく。



アサリ クルマエビ ガザミ

2. 本県の水産業を担う人材の育成について

Q.県立三谷水産高等学校では、本年度、文部科学省のSPHの指定期間の最終年度となるが、この5年間でどのような取組と成果があったのか。また、本県の水産業の将来を担う人材を育成するために、今後どのように取り組んでいくのか、教育長の所見を伺う。

A. (長谷川教育長答弁)  
研究は、クロアワビを水槽で養殖する技術、ドローンによる環境調査、水中ロボットの利用、ウナギの資源保護と完全養殖化など、全国に先駆けた先進的な取組で、取組を進展させていくことで、水産及び海洋分野を牽引する、高度な専門的知識と実践力を兼ね備えた人材の育成に努めていく。老朽化している実習船「愛知丸」については、本年度、生徒の安全性の確保や学習環境の充実、水産業の技術革新への対応ができるような規模や装備等を調査し、更新に向けて、引き続き検討を進めていく。



三谷水産高等学校 実習船「愛知丸」

3. 中部国際空港二本目滑走路の早期実現に向けた取り組みについて

Q.中部国際空港の二本目滑走路の早期実現に向けて、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

A. (鎌田建設局長答弁)  
これまで、東海3県1市、経済界、空港会などが一丸となって「中部国際空港利用促進協議会」や「中部国際空港二本目滑走

路建設促進期成同盟会」を組織し、地域を挙げて、需要拡大や国への働きかけなどに取り組んできた。この度、空港隣接地では「中部国際空港沖公有水面埋立事業」が、漁業者の皆様のご理解をいただき、スタートし、新たな土地が造成される。引き続き地域の関係者が連携して、需要の回復とさらなる拡大に取り組み、二本目滑走路の早期実現に向けて、国への働きかけも一層強化する。



中部国際空港

4. フィルムコミッションを活用した観光振興について

Q.映画やテレビドラマなどのロケの誘致は、地域の観光振興に資する有効な手段であると考えますが、フィルムコミッションを活用した観光振興にどのように取り組んでいくのか伺う。

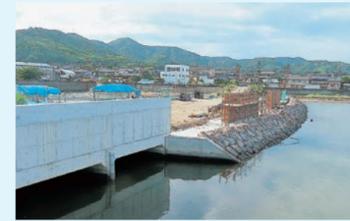
A. (芹沢観光コンベンション局長答弁)  
本県では、2014年に「愛知県フィルムコミッション協議会」を設立し、現場での撮影等の支援を行うとともに、ロケ地と周辺の観光施設等を紹介する「ロケ地巡り・街歩きマップ」の作成や、首都圏で開催する観光物産展におけるロケ地のパネル展示など、ロケ地を活用して観光誘客につなげていくための取組を行っている。映画「ゾッキ」は、竹中直人氏、山田孝之氏、齊藤工氏という、著名な人気俳優が監督として制作した注目の作品であることから、3人の監督の発信力を活かすことができ、映画と連携した観光プロモーションについても、検討していく。今後とも、県内各地のフィルムコミッションはもとより、地元の市町村、観光協会等とも連携して、ロケの誘致に取り組むとともに、ロケ地を活用して観光誘客の拡大を図ることにより、本県の観光振興を推進していく。(1面参考)

〈大村知事答弁要旨〉

水産業の振興については、県として、今まで以上にしっかりと水産業を支援するとともに、国との連携にも、より一層取り組んでいく必要があると考えている。  
昨年10月には、私が赤羽国土交通大臣にお会いし、協力を要請した結果、矢作川の砂に加え、来年度からは、矢作ダムに堆積している砂も、干潟・浅場造成に活用できることとなった。今後も関係機関が一丸となって、漁業者の皆様が将来に明るい希望を持ってよう取り組んでいく。  
中部国際空港二本目滑走路の早期実現は、この度の空港沖埋立事業について、漁業者の皆様が大変難しい判断をいただき、心から感謝を申し上げる。  
漁業者の皆様のお思いをしっかりと受け止め、造成される土地については、将来的に二本目滑走路の用地として活用するという地域の思いを改めて申し上げ、その早期実現に向け、私が先頭に立って全力で取り組んでいく。

都市計画道路大塚金野線の整備について

Q.ラグーナ蒲郡地区への新たな進入路となる臨港道路とそれに伴う国道23号大塚鎌倉交差点整備の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う。



臨港道路海陽3号線から大塚鎌倉交差点を臨む

A. (寺西港湾課長答弁)  
臨港道路海陽3号線は、昨年度までに、水路を跨ぐための3連のボックスカルバートと護岸工事を実施し、今年度は、道路の路面高を確保する擁壁の設置工事を進め、擁壁完成後は、道路の路床部分までの高上げ工事を進める。  
また、海陽3号線が接続する大塚鎌倉交差点については、当面整備が必要な交差点形状について、理解が得られた。今後道路の詳細設計を実施し、来年度交差点部の工事に着手する。

Q.大塚金野線について、県における取組状況と今後の方針について伺う。

A. (神谷道路建設課長答弁)  
大塚金野線の道路計画を固めるためには、JR東海道本線をアンダーパスの条件となっていた周辺の踏切1箇所を廃止することについては、昨年5月に地元同意書を頂き、11月には今後の交差点部の設計及び施工に関する費用負担や施行区分など、JR東海との事前

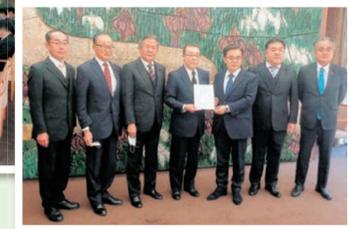
協議が整った。  
これを受け、本県において、現地測量と地質調査を実施しており、来年度は、交差点部の構造設計を行い、設計資料を基にJR東海に対し、施工方法含め構造の検討を委託し、構造物の形状や道路高さの設定を行う。  
また、延長500mを超えるトンネルの出入口について、現地状況を踏まえた設計を行い、早期に路全体の道路計画を固めていく。



TOPICS トピックス



1月19日 県土整備議員連盟 知事要望・意見交換



1月19日 県土整備議員連盟知事要望



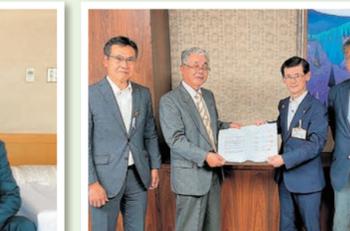
2月15日 湯藤三谷水産高等学校長 表敬訪問



4月9日 ガマダム1000設立総会



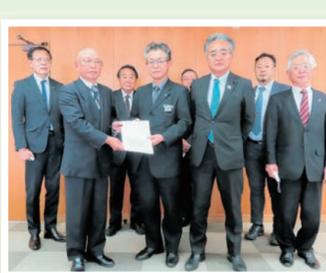
3月24日 蒲郡市民病院 城医院長との懇談会



5月21日 大原副市長へ大塚学区開発委員会要望



4月23日 蒲郡警察署落成式



4月22日 白村東三建設事務所長へ三ヶ根停車場拾石線拡幅要望



4月3日 公明党国政報告会



4月3日 今枝代議士・伊藤渉代議士と共に



4月23日 蒲郡警察署落成式 神戸議長と



6月24日 (株)オティックス意見交換会